

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東北)	◎	一般小売店〔書籍〕（経営者）	単価の動き	・東日本大震災後の販売状況に酷似している。子供たちのために家族が本を買う、あるいは単籠り状態のために趣味や教養を高めるための簡単な本を買う傾向が強いため、客単価が異常に上昇している。
	◎	家電量販店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で前半は客の買物も慎重であったが、10万円の給付金が入ることによって客の購買意欲が増しバブルが起きており、前年比で140%になっている。高額なエアコンや、今まで客が買い控えていたような大型テレビなどがよく売れている。ただし、これは一過性のものだとみている。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で消毒液、マスク、その他もろもろの売上が伸びている。そういったものが売上を押し上げている。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は緊急事態宣言解除以降、徐々に落ち着いて前年並みになってきたが、客単価は依然として1割増しの状態が続いている。
	□	スーパー（経営者）	単価の動き	・5月は新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、チラシ等販促を中止したため平均1品単価が上昇したが、来客数は減少し、買上点数も前年割れをしている。しかし、売上高は前年をクリアしている。内食化消費が続いている。政府や自治体からの特別定額給付金や補助金が消費の維持につながっているものとみられる。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・売上は前年比108.3%、4月についても全店で前年比108%ということで、余り変わらない状況にある。
	□	スーパー（営業担当）	単価の動き	・来客数は前年をやや下回るが増上点数が増加しており、まとめ買い需要の傾向は依然として継続されている。来店頻度が下がっても、売上高は伸長している。内食需要の高まりは続いているとみえる。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・さんざん言われている不要不急の外出自粛は身に付いているようである。まだまだ不安感も払拭されていない。
	□	家電量販店（従業員）	来客数の動き	・時間を短縮して営業活動をしている。単籠り的な家電品の需要と、出掛けられずに浮いた部分の資金が一時的に家電店に回ってきていることはあるが、この上向きの状況は一時的なものだと想定している。10万円の給付も含めて今後の経済対策がどういう時期にされるのかにより、客の使い道も変わってくると思うので、そういったときの反動減的なものも予想され、一瞬良かったとしても良いとはいえない。
	□	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、中旬まで開店休業の状態であったが、今月の後半になってやっと来客数が増えてきて、売上も少しずつ伸びてきている。
	□	その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークは休業のため、売上がなかった。営業再開後も行楽や旅行需要がないため、全ての靴が売れていない。
	□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・前年度からの販売量が減少している。収益は回復しているが減少幅が大きい。
	□	観光型旅館（スタッフ）	販売量の動き	・現状は変わらない。県独自の宿泊施設支援も打ち出しており、6月中旬以降から宿泊の予約件数が上がってくるのではと推測している。
	▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・4月は新型コロナウイルス禍による緊張の高まりで特需的な売上があったが、今月はその反動が出ている。さらに、買いだめのなかった客層でも、単価が落ちてきている。特に月末に向けてその傾向が大きくなってきている。
	▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後の来街、来店の動きはみられるが、県をまたぐ移動や観光客は少なく、戻ってきたとまではいえない。
	▲	スーパー（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス禍により、通常の販売量とはいえない。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でまとめ買いなどが見られたが、最近では緊急事態宣言の解除もあり、来客数は新型コロナウイルスの影響を受ける前の前期比マイナスに戻っている。	

▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス関連で外出自粛が発動され、客の行動に変化がある。買物の回数が減り、他の行動も控えた結果、スーパーの客単価は上がっているが来客数は減少している。今後、客単価が下がれば、即売上減少に転ずる。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が前年比80%と厳しい状況である。特に週末の低下が著しく、ソフトドリンクやカウンターフーズの販売減の原因となっている。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍により行楽需要はなく、立地にもよるが来客数減を招いている。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・学校が動いておらず、会社も在宅勤務のところの一部あるため、まだ3か月前の状況には戻っていない。
▲	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大のなか、緊急事態宣言でゴールデンウィークも人出が全然なく、買物客も皆無の状態であった。商品の動きも、マスクの売上が多少増加した程度で他は動きがなく、悲惨な状況である。
▲	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・リモートワークや自宅待機の客が急増している。また、世帯収入の減少により、来客数が大幅に減少している。
▲	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による営業自粛と来客数の減少により、前年比50%の実績となっている。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・個人客の受注がかなり減っている。法人客はほとんど減ることはなく、変わらず推移している。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・市場環境が悪く前年比60%の実績で推移している。新規の来客数は今月に入り少し例年並みに戻りつつあるが、実績につながっていない。買い渋り傾向にある。
▲	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・自粛の影響もあり来客数の戻りがまだ見られない。既存客に関しては、滞在時間が短く、じっくりと代替提案ができない。
▲	タクシー運転手	来客数の動き	・最近の客は直行直帰のタクシー利用になっている。例えば、新型コロナウイルス発生前は病院の帰り際、タクシーを待たせた状態で墓参りする客、買物を済ませ友人宅へ遊びに行く客が多く見られたが、前月からは見受けられない。どうしても必要な区間のみタクシー利用となっている。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が長引き、飲食店関係者や高齢者ら加入者からの支払にも影響が出始めている。また、工事関連事業も、県外からの関係者が移動を自粛しているため、前月以上に新規客の対応が滞っている。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・訪問ができないため、商談ができない。
▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・客の来店頻度が2～3か月に1回など、これまでよりも1か月くらい延びている。
▲	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止の経済封鎖の影響で、出歩く人、買物をする人などが極端に減少している。自動車サービス業は直接の影響が少ない業種であるが、客のマインドが低下している。
▲	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・直接接客ができなくなり、受注及び契約締結の進捗がなく受注が伸びない。
▲	その他住宅 [リフォーム]（従業員）	販売量の動き	・リフォームでは塗装工事が減っている。住宅設備機器の販売では給湯器の交換が減っているが、エアコンを新設、増設する問合せが増えている。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・3月より景気の悪化が続いており、特に4～5月は非常に悪い状況になっている。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・当県は新型コロナウイルス感染者ゼロの状態が続いているが、感染予防のため人混みや外食、買物を極力控える自粛ムードが続いており、景気は一段と悪くなっている。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・自粛要請は解除されたが、学校も再開されていないので景気は下向きのままである。
×	一般小売店 [医薬品]（経営者）	来客数の動き	・5月の繁華街の状況は毎日が日曜日の静けさと同じである。夕方になると呼び込みの人が僅かに現れるが、客は店の中には入ってっていない。50年、店に立っているが、今回のような状況は初めてである。来客数も新型コロナウイルス発生前の10%しかない。

×	一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今月の売上は約8割減となっている。緊急事態宣言が解除にはなったものの、客の観光施設、旅館などはいまだに再開のめどが立たない所がほとんどで、飲食店も短縮営業に加え、予約のみの営業など厳しい状況は何も変わっていない。ほとんどそういった客からの注文はなく、ゴールデンウィーク明けからは少しでも支払額を抑えようと商品の返品依頼が絶えない。本当に厳しい状況である。
×	一般小売店〔カメラ〕（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で休業したこともあり、来客数が減少し売上も落ち込んでいる。
×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染防止のため、今月6日まで食品フロアを除き休業し、その後は時間短縮を行って営業しているものの、来客数はまだ例年の水準には戻っていない。衣料品や高額品等、優先順位が高くないと思われる商品群は依然として動きが鈍い。
×	百貨店（買付担当）	それ以外	・緊急事態宣言による休業や営業時間の短縮によるマイナスのほか、不要不急の外出自粛による来客数の減少、消費マインドの低下等、新型コロナウイルス禍によるマイナスは計り知れない。
×	百貨店（経営者）	販売量の動き	・中旬から営業自粛要請は解除になり、少しずつ営業時間を戻し、売上は半減から7掛けまで回復してきているがそこまでである。回復にはまだ時間が掛かる。食品は堅調である。
×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・5月14日に39県の緊急事態宣言が解除されたが、いまだ不安定で不安な状況が続いているため、客は外出を控え、なおかつ買物も控えているという状況である。
×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言により外出自粛が徹底され、より一層の客足の減少につながり、売上も50%を割り込んでいる。
×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で家にいる人が多くなっている。家族連れでコンビニに行く人はおらず、休日、平日共に来客数がかなり減っている。また、会社関係もほとんどが休みになっている。そういったことから収入がないので、景気はかなり落ち込んでいる。
×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後も来客数が戻らず、売上が厳しい。
×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で今月は大きく売上が下がっている。複数経営しているが30%以上売上が落ちている。自粛解除後も余り来客数は戻っておらず、店の利益も大幅に下がるとみている。
×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少している。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、来客数の減少が顕著に出ている。特に週末の繁華街は影響が大きく、通常期の8割減の店舗も出てきている。また、飲食店街は昼、夜共にほとんど客が来ない状態である。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が非常に減っている状況に加え、給料が減っている方が多いので、景気は悪化している。
×	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスによる自粛のため、来客数が少ない。
×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・自粛が続くなか、洋服や小物を見たいというところまで、気持ちがいついていない方が多いようである。
×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス騒動により、スーツを着て出張する機会がかなり削減されたため、景気が上向きになってくる気がしない。
×	衣料品専門店（店長）	それ以外	・緊急事態宣言が発出されてからは、外出を控える方が増え、買物される方も少なく、3か月前と比較した場合は非常に厳しい状態である。
×	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・土日の客の動きが全くない。新型コロナウイルスの影響がかなり大きいようである。
×	乗用車販売店（本部）	お客様の様子	・車両販売においては前年比70%と落ち込みが激しい。辛うじてサービス部門の売上が前年並みだが、先行き不透明が大きい。客から店舗の混雑状況や新型コロナウイルス対策の有無の問合せがとにかく頻繁で、来場を見合わせるという声も多い。
×	自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で車両が動かないことによって、消耗品、修理関係の落ち込みが著しい。
×	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・販売量の動きは、訪問受注量の減による製作物の減ということである。

×	住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数、売上共に激減している。
×	その他専門店 〔酒〕(経営者)	来客数の動き	・3月以来、新型コロナウイルスの影響でかなり悪い。取引先も営業をやめたり、更に廃業したりという状況になっている。店頭も販売がかなり落ちてきている。また、国や県、地元自治体の救済策も条件や金額の問題、又は対応が遅すぎて現実的ではない。無条件での支払の減免や事業に応じた金額の支援が早急に必要と考える。
×	その他専門店 〔食品〕(経営者)	来客数の動き	・当店は食品の専門店、県外からの来店者が多いのが特徴である。そんななか、県を越えての往来自粛要請がなされ、来客数は3分の1に激減している。
×	その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕(営業担当)	販売量の動き	・観光業、飲食店の営業自粛等により注文がほぼない状態である。また、それ以外の業種でも予定していた衣替えが延期になったりしている。マスク、手袋、消毒アルコール等は品不足により注文を受けられない状態が続いている。
×	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言による外出自粛の影響で出荷が激減している。特にゴールデンウィーク中の出荷が悪い。下旬は上旬と比べて回復しているものの、前年比3割減である。
×	その他小売 〔ショッピングセンター〕(統括)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる営業自粛により営業日数も17日間で、非常に厳しい状況が続いている。
×	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で1か月ばかり休んでいた。再開したものの、客は全く戻ってこないため、ほとんど収入がない。
×	高級レストラン (スタッフ)	お客様の様子	・新型コロナウイルスに対して恐れをなしているため、外出、外食しようとはなかなか思わない。特に年配の方や軽度でも病気を持っている方は特にそう考えていると思う。
×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、店の営業も何とかしているが、実際には客がほとんど来ないという状況である。店舗をどこまで維持できるのか、かなり切迫した状況が続いている。
×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・3～5月は新型コロナウイルスの影響がみられる。
×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月中旬から営業を再開したが、客の組数を限定し完全予約制にしているため、元のような状況には戻っていない。
×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・県の休業要請は5月10日で一旦は解除となったが、メイン客層の法人関係の接待などは全く予約が入らず、辛うじて地元の常連が少し来店してくれた程度で、売上が全然駄目である。
×	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・前半は休業しており、再開後も外出の自粛などにより細々とした営業状態である。
×	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの関係で、5月は個人旅行店舗の全てを臨時休業としている。そのため売上が全くなく、前年比5%ほどの販売しか見込めないという状況である。
×	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・店舗をクローズさせるとともに社員を休業させ、新型コロナウイルスの終息に向けた取組を行っている。Webでの申込みもほとんどない状況である。
×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客が少ない。
×	タクシー運転手	競争相手の様子	・自社のタクシーも悪いが、他社のタクシーはもっと状況が悪く、出勤しているドライバー数が激減している。
×	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる経済不況が続いている。倒産件数と失業者が日々増えている。消費動向が完全低迷している。
×	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で各小売業始め企業の売上が激減している。
×	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・業種にもよるが、客の設備投資意欲が思わしくない。
×	観光名所(職員)	それ以外	・様々な自粛要請により、舟下り等は5月1日から現在まで休んでいる。今後運行するかの判断もできないような状況であり、景気うんぬんの前に会社としてどう生き残っていくかの瀬戸際にいる。

	×	遊園地（経営者）	来客数の動き	・22日まで臨時休園をして、23日からようやく新型コロナウイルスの感染対策を講じて再開している。山場のゴールデンウィークを営業できなかったのは開園以来初めてで、売上への影響は甚大である。
	×	競艇場（職員）	それ以外	・完全休館中である。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたので、売行きがある程度戻るとみていたが、前年比70%程度の回復にとどまっている。前月が52%くらいであったのでそれよりは十分良いが、後半から新型コロナウイルスの影響が多少出てきた3月の水準にはまだ戻っていない。警戒しながら徐々に戻ってくるのかというところである。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数も減少しているが、時間を短くしたいのでカットだけでいいという客が多く、単価も下がっている。
	×	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響で工事が遅延しているものはまだ被害が少ないかもしれないが、中止や見直しを求められている案件を多数聞いている。現在の落札金額も競争の激化と最低制限価格がないために予定価格の30%となるような案件もある。市場の縮小と激化がみられる。
企業 動向 関連	◎	—	—	—
	○	—	—	—
(東北)	□	農林水産業（従業者）	それ以外	・稲作等の春作業は特に新型コロナウイルスの影響もなく順調に進んでいる。
	□	通信業（営業担当）	取引先の様子	・年度替わり後の客との対面接触ができにくくなっており、これまでのきめ細かな対応の継続が困難である。
	▲	電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスの影響で半導体市場が全体的に縮小傾向であり、半導体メーカーの業績に直接影響しつつある。
	▲	建設業（従業者）	受注量や販売量の動き	・今月は内定案件もあったものの、未契約等の理由により見掛けの受注量が減少している。
	▲	金融業（営業担当）	取引先の様子	・多くの業種で売上が減少し、先が見通せない状況になっている。融資の申込みも多くの業種で増加している。
	▲	コピーサービス業（従業者）	受注量や販売量の動き	・主要取扱メーカーの商品の生産が追い付かず、発注を出しても配分されて商品が潤沢には届かない状況が続いている。また、客の状況も設備投資をするには余りにも先行きが不透明で商談が前に進まないケースが増えている。
	×	農林水産業（従業者）	それ以外	・地元温泉旅館のパート従業員は今月は全く仕事がなく困っているようである。非常に大変な状況である。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響でゴールデンウィークが全く駄目であった。テナント店や直営店のほとんどが休業しており、連休以降営業再開するも売上はひどい状況である。駅など土産中心の店が特にひどい。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・観光客、出張者がなく、他県者による土産の購入は前年比90%マイナスである。唯一プラスなのがインターネットによる土産品の販売で、売上額は少ないが前年比300%である。
	×	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年同期比で約3割減少している。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・イベントの中止による印刷物の減、飲食店等の売上不振による広告減、求人広告の減により、3月以降、売上が前年比20%弱減少している。
	×	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・売上高は3か月前の約50%弱となっている。緊急事態宣言が発令されてから、イベント関係のチラシ、パンフレットが軒並みキャンセルになっている。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・東北全体で出荷が減少しており、今後も厳しい状況が続く見込みである。公共工事、民間工事も低調になっている。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・過去に例を見ないほど減産し、取引先までもが休日を増やしている。
	×	電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言の発令で経済が悪化している。
×	建設業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍の影響で、客先の設備投資計画が遅延や延期に至る状況が出始めている。	
×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が段々と広がってきている。現在の見通しだと、前月と比較しても10%以上売上が減っている。	

	×	金融業（広報担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍に係る外出自粛やインバウンド需要消滅の影響が顕在化している。飲食業や宿泊業を中心に、従来規模の営業ができずにこれまで手元資金でやりくりしてきたものの、今になって資金繰りにも苦慮するケースが頻発している。
	×	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言は解除され、イベントや観光の基本的対処方針が示されているが、各企業手探り状態で、積極的行動になるにはもう少し時間が掛かる。広告業界の売上は壊滅的状態である。
	×	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍の影響で仕事自体が激減しており、売上は前年比50%である。客に対して訪問活動もできず、受注のチャンスも皆無の状況である。
	×	経営コンサルタント	それ以外	・新型コロナウイルスの悪影響がピークに来ている印象を受ける。生き残りを賭けて、時間との戦いが進行中である。
	×	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。小売、飲食店、塾経営等の客の落ち込みが極端である。新型コロナウイルス関係の営業自粛要請により、閉店する客も出てきた。建設関係はまだ影響が出てきていないが、3か月前よりは確実に悪い。
	×	その他非製造業 〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・以前から景気は低調であった。そこに新型コロナウイルスが発生したことから大変な状況である。商品がありさえすればその商品は動くが、小麦粉から作られている粉製品がほとんど入らず、調味料も品薄で非常に困っている。非常に良くない状況である。
	×	その他非製造業 〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、まだまだ繁華街の人出は少ない。当地は支店経済でもあり、大手企業の営業マンが5月中は在宅勤務を継続していることが、平日夜の繁華街の集客に苦勞する要因となっている。
	×	その他企業〔企画業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・広告宣伝に関するチラシ、ポスター、パンフレットなどの印刷物はもちろんのこと、セミナーにおいても密防止の観点からここ数か月、受注数ゼロが続いている。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	—	—	—
(東北)	▲	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数は前月に引き続き減少傾向である。特に業績の先行きが不透明という理由での求人終了が増えている。また、新型コロナウイルスによる外出自粛に伴い、採用活動、面接対応自体が動かないという企業も増えており、採用決定数が下がっている。
	▲	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で派遣採用に慎重になっている企業が増えている。
	▲	アウトソーシング企業 (社員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で会議が減っている。
	▲	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に重点が置かれ、消費者向けの積極的な広告や広報の動きはみられない。営業自粛が解除されているが、客足の戻りが感じられないという声が多い。
	▲	学校〔専門学校〕	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による自粛が尾を引いている。
	×	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・在宅勤務の派遣社員の6月以降の処遇と、6月にくる第1四半期末の契約期限について、本来は7月の延長を見込んでいた契約の見通しが現状では不透明である。
	×	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・来年の4月入社の新卒、大卒の採用をしていた飲食業、旅館ホテル業、商社、特に婦人服や靴の流通の商社が業績悪化により新卒採用をストップしている。
	×	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数は激減し、派遣の終了も多数出ている状況である。特にブルーカラー系や飲食、観光、旅行系は非常に厳しい状況となっている。
	×	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	求人数の動き	・地方都市求人主要業種である流通、飲食、サービス等で経済活動がストップした状態で、その業種はほとんどの求人がない。求人全体でも半分以下である。
	×	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染症により、企業からの求人数が前年比40%の大幅な減少となっている。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で4割減少している。求人の取消しもある。